

少数台数のリコール届出の公表について（平成22年7月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成22年7月は12件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月6日	2572	車名：三菱 型式：KL-FV50JJXD 他 通称名：ふそう	11	平成12年11月6日～ 平成16年2月9日
不具合の部位等	駆動輪の空転を防止するASR（アンチスピンレギュレータ）を装着した大型トラックにおいて、ダンプ作業時の振動によってASRが誤作動し、駐車ブレーキの制動力が低下するおそれがある。			

2. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月9日	2575	車名：コマツ 型式：EDR-M246 他 通称名：FD115 他	27	平成20年1月21日～ 平成22年4月28日
不具合の部位等	運転者席に着座していない状態での走行・荷役作業を禁止する、離席時走行・荷役ロック機構のハーネスの取り回しが不適切なため、雨水等が当該ハーネスのコネクタ部に浸入する場合がある。そのため、そのままの状態で使用続けると、通電不良により離席時走行・荷役ロック機構が誤作動し、走行不能になるおそれがある。			

3. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
7月9日	外1685	車名：ドゥカティ 型式：ZDMD100AA7B 他 通称名：DESMOSEDICI RR	84	平成20年2月1日～ 平成20年12月18日
不具合の部位等	<p>①メインハーネスの取り回しが不適切なため、カーボン製カウルの端部と干渉し、当該ハーネスが損傷することがある。また、ハンドルを左右に切った際に、当該ハーネスがボトムヨークやプラスチックガードに干渉し、当該ハーネスが損傷することがある。そのため、速度計が表示しなくなる、前照灯や方向指示器が作動しなくなる、又は原動機が停止して、再始動できなくなるおそれがある。</p> <p>②ニュートラルスイッチケーブルの固定が不適切なため、排気管の熱により当該ケーブルが溶損し、ニュートラルランプが正常に作動しないことがある。そのため、原動機停止後、ニュートラルの状態でも再始動できなくなるおそれがある。</p> <p>③吸気ダクトに取り付けられたヒューズボックスとリレーサポートの配線の取り回しが不適切なため、吸気ダクトの端部に干渉することがある。そのため、走行中の振動等により当該配線の被覆が損傷し、速度計が表示しなくなる、前照灯、制動灯若しくは方向指示器が作動しなくなる、又は原動機が停止して、再始動できなくなるおそれがある。</p> <p>④ボルテージレギュレータの配線の取り回しが不適切なため、当該レギュレータの熱によりハーネスの被覆が溶損し、原動機が停止して、再始動できなくなる、又は火災に至るおそれがある。</p> <p>⑤カーボンテールガードと触媒コンバータの間隔が不適切なため、当該テール</p>			

ルガードと触媒コンバータが接触することがある。そのため、触媒コンバータの熱により、当該テールガードが溶損し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

4. 届出者：株式会社 MV AGUSTA JAPAN

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月16日	外1690	車名：MV AGUSTA 型式：ZCGF610 通称名：F4-1000	5	平成22年 5月31日
不具合の部位等	エアクリナーカバーにおいて、固定クリップの引っ掛かりが浅いため、走行中の振動により、固定クリップが外れることがある。そのため、固定クリップが外れたまま使用すると、エアクリナーが密着せず、小石等の異物がスロットルバルブに噛み込み、スロットルバルブが戻らなくなるおそれがある。			

5. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月21日	2581	車名：レクサス 型式：DBA-USF40 他 通称名：LS460 他	87	平成21年 8月28日～ 平成22年 5月13日
不具合の部位等	ギヤ比可変ステアリングシステム（VGRS）の制御プログラムが不適切なため、通常の据え切り操作から急ハンドルのような素早い戻し操作をすると、一時的にハンドルの中立位置が大きくなるおそれがある。			

6. 届出者：ヤンマー株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月22日	2576	車名：ヤンマー 型式：- 通称名：GK13 他	61	平成22年 2月19日～ 平成22年 3月4日
不具合の部位等	かじ取装置（パワーステアリングシリンダ）において、シリンダロッドとロッドエンドとの溶接が不適切なものがあるため、かじ取操作時に当該溶接部が破損し、かじ取操作が出来なくなるおそれがある。			

7. 届出者：東急車輛特装株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月22日	2577	車名：ニッサンディーゼル 他 型式：KL-CV27E 他 通称名：-	59	平成17年 7月20日～ 平成22年 5月19日
不具合の部位等	タンクローリー架装において、アルミ合金製燃料タンクの移設方法が不適切なため、走行時の振動等により、アルミ合金製燃料タンクステーに亀裂が発生するものがある。最悪の場合、燃料タンクが脱落するおそれがある。			

8. 届出者：コベルコクレーン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
7月22日	外1688	車名：グローブ 型式：不明 通称名：KMG6300 他	26	平成17年 1月7日～ 平成20年 9月5日
不具合の部位等	クレーン用台車の加速装置において、アクセルリターンスプリングが一つしか装備されていないため、道路運送車両の保安基準に適合していない。			

9. 届出者：株式会社トヨタトレーラー

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月23日	2586	車名：トヨー 型式：TT22DA 他 通称名：タンクセミトレーラ 他	34	平成17年12月1日～ 平成21年4月16日
不具合の部位等	スタビライザーアームの材質が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、最悪の場合、当該アームが折損し走行できなくなるおそれがある。			

10. 届出者：株式会社トヨタトレーラー

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
7月23日	外1692	車名：THT 他 型式：不明 通称名：セミトレーラ	29	平成16年10月15日～ 平成19年3月5日
不具合の部位等	スタビライザーアームの材質が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、最悪の場合、当該アームが折損し走行できなくなるおそれがある。			

11. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月27日	2588	車名：ニッサン 型式：KK-BJW41 通称名：シビリアン	1	平成14年1月29日
不具合の部位等	側面方向指示器を備えた車両の非常点滅表示灯スイッチにおいて、接点の耐久性が不足しているため、当該スイッチ操作時の通電によりアーク放電が発生し、接点が摩耗するものがあり、最悪の場合、非常点滅表示灯が点灯しないおそれがある。			

12. 届出者：富士重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月29日	2579	車名：スバル 型式：DBA-BM9 他 通称名：レガシィ	97	平成22年3月26日～ 平成22年6月19日
不具合の部位等	手動変速機のトランスファケースにおいて、製造工程の加工プログラムが不適切なため、オイル潤滑穴が加工されていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オイル潤滑不良によってギヤ等が破損し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。			

【参考】平成22年7月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	17件	9件	8件
輸入車	11件	7件	4件
計	28件	16件	12件